

南砺市の基金 使い道は？

(令和元年度)

南
砺
市
の
基
金
(貯金)につい
て、詳しく解説
します！

お
願
い
し
ま
す
！

南 結

財政☆ワカル

富山県南砺市

1. 基金の状況

令和元年度末における基金設置数は22基金だよ。
これらの基金にはそれぞれ役割があるんだ。



(単位：円)

基金名	設置目的	令和元年度末残高
01_財政調整基金 (積立)	市財政の健全な運営を図るため	3,472,338,571
02_減債基金 (積立)	市債の償還に必要な財源を確保するとともに、将来にわたる市財政の健全な運営を図るため	6,059,982,611
03_施設等整備基金 (積立)	市の施設等の整備を計画的に実施するため (道路整備5箇年計画等)	1,970,662,801
04_国際交流基金 (積立)	市民の国際交流事業の推進を図るため	75,137,365
05_社会福祉基金 (積立)	市民の福祉の増進をはかるため	1,325,414,851
06_環境保全基金 (積立)	地域住民が共同して行う土地改良施設等の地域資源の保全及び活用に係る事業を推進することで、農村地域の良好で快適な環境の創造を図るため	67,269,264
07_合併地域振興基金 (積立)	8町村の合併に伴い誕生した本市住民の一体感の醸成、発展あるまちづくり及び元気な地域づくりを推進するため	3,383,839,196
08_クレー射撃場施設管理基金 (積立)	クレー射撃場施設の維持管理費に充てるため	16,074,869
09_東日本大震災支援基金 (積立)	東日本大震災の被災地及び被災者の支援を図るため	455,525
10_過疎地域自立促進基金 (積立)	過疎地域自立促進特別事業に要する経費に充てるため(産業振興、交通通信、厚生、教育文化、その他)	327,668,902
11_すこやか子育て基金 (積立)	次代を担う子どもたちの健やかな成長を図り、結婚、妊娠、出産、子育て及び教育まで切れ目のないサービスを提供できる環境づくりを図るため	1,533,952,560
12_地方創生推進基金 (積立)	南砺幸せなまちづくり創生総合戦略に係る事業の継続的な推進を図るため	859,669,156
13_公共施設再編基金 (積立)	公共施設再編計画の着実な実行を図るため	2,600,000,000
14_Uターン就職奨学基金 (積立)	奨学資金の貸与を受けた者の返済額を助成し、Uターン就職及び市内での定住の推進を図るため	20,861,000
15_商工観光振興基金 (積立)	地域の商工業の振興及び観光事業の推進に資するため	449,914,500
16_こども未来創造基金 (積立)	児童・生徒の多様な学びの機会を提供し、魅力あふれる人材育成の推進に資するため	750,099,225
17_森林環境譲与税基金 (積立)	森林の整備や、それを担う人材の育成・確保などの施策に要する費用に充てるため	17,260,000

(単位：円)

基金名	設置目的	令和元年度末残高
18_国民健康保険事業財政調整基金 (積立)	国民健康保険事業の健全な財政運営を図るため	791,684,978
19_訪問看護事業財政調整基金 (積立)	訪問看護事業の健全な財政運営を図るため	224,489,257
20_奨学基金 (定額)	奨学金に関する事務を円滑かつ効果的に行うため	192,558,695
21_土地開発基金 (定額)	公用もしくは公共用に利用する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することで、公共事業の円滑な執行を図るため	1,298,870,596
22_美術品取得基金 (定額)	美術品の取得に要する経費に充てるため	54,097,314
合計		25,492,301,236

- ※1 (積立)：特定の目的のために積み立てられた基金で、基金の運用から生じる収益も含めて、特定事業の財源として活用(取崩し)できるもの。積立基金。
- ※2 (定額)：特定の目的のため定額の資金を運用する目的で積み立てられた基金で、歳入歳出予算に計上することなく、直接、基金で土地や美術品を購入したり、資金を貸し付けするもの。定額運用基金。
- ※3 出納整理期間中の積立て及び取崩しを反映しているため、南砺市歳入歳出決算書に記載する財産に関する調書の数値とは一致しません。



2. 基金の活用状況と残高の推移

令和元年度に基金を使って行った事業を紹介します。

※表示単位の端数処理（四捨五入）により、合計等が一致しない場合があります。

また、表示単位未満の数値があるときは「0」、数値がないときは「-」とします。

01_財政調整基金

（担当：財政課）

令和元年度は、補正予算に要する経費に充てるため1,695万円を取り崩しました。また、後年度の財源調整のため、基金の運用によって得られた収益963万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	64億9,165万円	60億1,906万円	59億3,768万円	30億8,154万円	34億7,966万円
当該年度積立額	2,462万円	3,230万円	1,676万円	3億9,812万円	963万円
当該年度取崩額	4億9,721万円	1億1,368万円	28億7,290万円	- 万円	1,695万円
当該年度残高	60億1,906万円	59億3,768万円	30億8,154万円	34億7,966万円	34億7,234万円

（注）財政調整基金の残高は、標準財政規模（全国どこでも同じ水準の行政サービスを提供するために必要な一般財源のこと。令和元年度は211億2,979万円）の10%から15%程度となるように努めることとしています。

02_減債基金

（担当：財政課）

令和元年度は、公債費（借金の返済）負担の平準化を図るために、当初予算にて2億8,000万円を取り崩しましたが、前年度決算剰余金を公債費に充てることができたことから、年度末に戻し入れを行いました。結果、取崩しは行わず、決算剰余金2億3万円と基金運用益1,614万円の合計額2億1,617万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	65億1,726万円	65億4,187万円	65億7,697万円	61億 515万円	58億4,382万円
当該年度積立額	2,461万円	3,510万円	2,517万円	2,167万円	2億1,617万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	4億9,700万円	2億8,300万円	- 万円
当該年度残高	65億4,187万円	65億7,697万円	61億 515万円	58億4,382万円	60億5,999万円



03_施設等整備基金

(担当：財政課)

令和元年度は、道路整備5箇年計画（H30-R4）に基づく市道整備事業の財源として4,610万円、城端温水プールの設備更新の財源として200万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益557万円を基金に積み立てました。



建設工事にはたくさんのお金が必要になるため、毎年この基金を計画的に取り崩しているよ。

<基金残高の推移>

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	16億9,374万円	17億 581万円	16億5,836万円	21億 951万円	20億1,319万円
当該年度積立額	1,207万円	915万円	5億4,435万円	949万円	557万円
当該年度取崩額	- 万円	5,660万円	9,320万円	1億 580万円	4,810万円
当該年度残高	17億 581万円	16億5,836万円	21億 951万円	20億1,319万円	19億7,066万円

学校近くの歩道もきれいに整備されて、安心ですね！



野田法林寺線



石黒北山田線

04_国際交流基金

(担当：交流観光まちづくり課)

令和元年度は、南砺市国際交流協会の実施する各種派遣事業（アメリカ・ポートランド市、紹興市、オーストラリア等）などに必要な補助金の財源として1,078万円を取り崩すとともに、基金の運用から得られた収益24万円を基金に積み立てました。

<基金残高の推移>

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	1億3,480万円	1億2,040万円	1億 851万円	9,738万円	8,568万円
当該年度積立額	60万円	56万円	42万円	35万円	24万円
当該年度取崩額	1,500万円	1,245万円	1,155万円	1,205万円	1,078万円
当該年度残高	1億2,040万円	1億 851万円	9,738万円	8,568万円	7,514万円

05_社会福祉基金

(担当：財政課)

令和元年度は、高齢者福祉施設の設備更新事業の財源として3,750万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益377万円は、基金への積み立ては行わず、社会福祉法人南砺市社会福祉協議会が実施する事業に対する補助金の財源として充当しました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,291万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	210万円	3,750万円
当該年度残高	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,291万円	13億2541万円

06_環境保全基金

(担当：財政課)

令和元年度は、基金の運用によって得られた収益19万円を基金には積み立てず、市単独土地改良事業補助金の財源として充当しました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円

07_合併地域振興基金

(担当：財政課)

令和元年度は、統合庁舎整備事業の財源として、5億1,645万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益1,078万円を基金には積み立てず、各種イベント補助金（城端むぎや祭、いなみ太子伝観光祭、南砺菊まつり、なんと福光ねつおくり七夕祭りなど）の財源として充当しました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	39億 182万円	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	153万円	- 万円	- 万円	- 万円	5億1,645万円
当該年度残高	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円	33億8,383万円



08_クレ射撃場施設管理基金

(担当：生涯学習スポーツ課)

令和元年度は、クレ射撃場施設維持修繕事業（R1ではフェンス板の張替を実施）の財源として、90万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益5万円については、基金への積み立ては行わず、同事業の財源として充当しました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	3,223万円	2,602万円	2,279万円	1,817万円	1,697万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	622万円	322万円	462万円	120万円	90万円
当該年度残高	2,602万円	2,279万円	1,817万円	1,697万円	1,607万円

09_東日本大震災支援基金

(担当：財政課)

令和元年度は、福島県南相馬市復興支援事業に要する経費の財源として10万円を取り崩しました。また、市民の皆様からご寄附をいただいた23万円と基金の運用から得られた収益（906円）を基金に積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	797万円	374万円	119万円	82万円	32万円
当該年度積立額	96万円	25万円	20万円	10万円	23万円
当該年度取崩額	520万円	279万円	57万円	60万円	10万円
当該年度残高	374万円	119万円	82万円	32万円	46万円

10_過疎地域自立促進基金

(担当：財政課)

令和元年度は、住民自治推進交付金事業、定住推進事業、空き家対策事業、国民体育大会運営支援事業及びシアター・オリムピックス2019運営支援事業の財源として、1億5,940万円を取り崩しました。また、過疎対策事業債（ソフト）を活用した資金1億420万円と基金の運用によって得られた収益106万円を合わせて積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	1億4,601万円	1億8,378万円	2億6,277万円	3億2,087万円	3億8,181万円
当該年度積立額	8,147万円	1億1,059万円	9,441万円	1億 4万円	1億 526万円
当該年度取崩額	4,370万円	3,160万円	3,630万円	3,910万円	1億5,940万円
当該年度残高	1億8,378万円	2億6,277万円	3億2,087万円	3億8,181万円	3億2,767万円



11_すこやか子育て基金

(担当：財政課)

令和元年度は、保育料軽減（無償化）事業、出生祝い金助成事業（三世代加算分）、こども妊産婦医療費助成事業、不妊治療費助成事業等の財源として、1億8,590万円を取り崩しました。また、決算剰余金2億円と基金運用益419万円の合計額2億419万円を基金に積み立てました。

【主な事業と充当額】

- ・保育園費（公立保育料軽減（無償化）事業、臨時保育士処遇改善分） 1億1,160万円
- ・こども妊産婦医療費給付費（医療費助成） 5,010万円
- ・すこやか親子支援事業費（出産支援交通費助成事業、不妊治療助成事業） 660万円
- ・児童育成費（出生祝い金助成事業） 960万円
- ・施設型給付等支援費（私立保育料軽減（無償化）事業） 800万円

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	10億 0万円	10億 206万円	10億2,704万円	17億1,039万円	15億1,566万円
当該年度積立額	343万円	2億1,238万円	8億8,665万円	607万円	2億 419万円
当該年度取崩額	137万円	1億8,740万円	2億 330万円	2億 80万円	1億8,590万円
当該年度残高	10億 206万円	10億2,704万円	17億1,039万円	15億1,566万円	15億3,395万円



12_地方創生推進基金

（担当：政策推進課）

人口減少や少子・高齢化の進行による地域経済の縮小や地域社会の維持が困難となるといった課題を克服するため、平成27年度（2015年度）から令和元年度（2019年度）までを計画期間とする「南砺幸せなまちづくり創生総合戦略」を策定し、5年間で約34億円の事業を展開してきました。

令和元年度に取り組んだ事業費は合計7億3,438万円であり、地方創生推進基金からは3億9,340万円を取崩し、これら事業の財源としました。

今後は、新総合計画の達成に向けて実施する主要事業のための財源として活用していくため、決算剰余金8億円と基金運用益125万円の合計額8億125万円を基金に積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	- 万円	10億2,000万円	10億 60万円	7億3,601万円	4億5,182万円
当該年度積立額	10億2,000万円	- 万円	381万円	261万円	8億 125万円
当該年度取崩額	- 万円	1,940万円	2億6,840万円	2億8,680万円	3億9,340万円
当該年度残高	10億2,000万円	10億 60万円	7億3,601万円	4億5,182万円	8億5,967万円

○地方創生推進基金を充当した主な事業

事業名	事業内容	R1 決算額	基金充当額
妊娠・出産包括支援事業（南砺市型「ネウボラ」推進事業）	母子保健訪問、産後ケア、子育てサロン、不妊治療費助成、不育症治療費助成、出産支援交通費助成等	1,716万円	840万円
南砺の三人っ子政策	3子以上多子世帯の高校通学定期券の助成、医療費の助成	370万円	360万円
子育て応援制度	ひとり親世帯の高校通学定期券の助成、入学祝い金の支給、子育て応援企業認定制度の推進	564万円	560万円
こども医療費助成制度	中学校卒業までの通院、入院に係る医療費を助成	2,027万円	2,020万円
介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品等整備事業	地域住民が主体となり、通所型サービスB事業等を新たに実施する団体に対し助成	850万円	850万円
三世代同居奨励金及び推進住宅改修等助成事業	三世代同居世帯奨励事業補助金、三世代同居推進住宅改修等補助金	2,770万円	2,770万円
ふるさと教育推進事業	ふるさとの自然や歴史、文化に対する理解を深める郷土学習の推進	200万円	200万円
なんバスで暮らそう事業	シルバーパスの発行（70歳以上、5千円で年間乗り放題）	250万円	210万円
小児医療推進事業	富山大学附属病院地域医療支援サテライトセンター運営経費	2,300万円	2,300万円
起業家育成支援事業	新規事業に対する各種助成（事務所等開設、事務所等借上げ、販売促進）	3,195万円	3,190万円
母子家庭等就業・自立支援事業	各種資格取得中の生活支援	401万円	190万円
空き店舗対策支援事業	空き店舗を活用し新たに事業に取り組む方への支援（改装費、借上げ料、販売促進費）	650万円	640万円

事業名	事業内容	R 1 決算額	基金充当額
就活・雇用促進事業	企業採用情報掲載サイト登録料等への助成、合同説明会開催費用への助成	266万円	260万円
企業立地奨励事業・小規模事業者応援制度	企業立地奨励金の助成	1億1,981万円	1億1,980万円
クリエイター育成マッチング事業	クリエイタープラザ利用促進事業業務委託、クリエイタープラザ利用促進補助金	650万円	650万円
南砺ブランド商品開発支援事業	南砺ブランド認定事業、南砺ブランド商品開発支援事業補助金、食資源の高付加価値化と流通体系構築に向けた実証実験	453万円	450万円
伝統的工芸品後継者育成支援事業	伝統的工芸品後継者育成費用に対する助成	535万円	530万円
再生可能エネルギー推進事業	木質ペレットストーブ等購入補助金、エネルギー用材搬出支援事業補助金、木質資源利用啓発PR事業補助金、木質ペレット購入支援事業補助金	518万円	510万円
地場産農作物消費向上事業	学校給食向け県産食材活用プロジェクト事業補助金	179万円	160万円
五箇山茅場の造成補助事業	茅場造成事業	399万円	390万円
移住定住者の保育料無料制度	市外からの定住世帯に対し、保育料を無料化する	906万円	890万円
定住促進雇用対策事業	市内へ新規に転入した方を雇用した企業に対し、必要経費を助成	970万円	970万円
ふるさと回帰転入助成事業	ふるさと回帰転入助成	120万円	120万円
定住支援事業	持家奨励金、新婚世帯民間賃貸居住補助金	2,650万円	2,650万円
観光客受入環境整備事業	クレジット決済環境整備、トイレの機能強化に要する費用への支援	183万円	160万円
なんと！幸せのおすそわけキャンペーン	富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」を活用した交流事業、友好都市である東京都武蔵野市「吉祥寺」や神楽坂での交流事業	600万円	300万円
TOGA国際芸術村を核としたクリエイティブビレッジ構想	インバウンド観光プロモーション（TOGAサマーフェスティバル）、クリエイターズネットワークの構築（クリエイティブ人材交流拠点づくり支援）	1,778万円	880万円

13_公共施設再編基金

(担当：財政課)

令和元年度は、基金の運用によって得られた収益718万円を基金には積み立てず、保育園及び小中学校の維持管理経費（光熱水費）に充当しました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	- 万円	5億2,000万円	10億4,000万円	26億円	26億円
当該年度積立額	5億2,000万円	5億2,000万円	15億6,000万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	5億2,000万円	10億4,000万円	26億0,000万円	26億円	26億円

14_Uターン就職奨学基金

(担当：教育総務課)

令和元年度は、奨学金の貸与者であって市内に就職された方を対象に、奨学金返還額相当額を助成する事業の財源として196万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益6万円は、基金には積み立てず、事務局運営費の財源として充当しました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	- 万円	- 万円	576万円	1,072万円	2,282万円
当該年度積立額	- 万円	600万円	600万円	1,357万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	24万円	104万円	146万円	196万円
当該年度残高	- 万円	576万円	1,072万円	2,282万円	2,086万円

15_商工観光振興基金

(担当：財政課)

令和元年度は、地域の商工業の振興及び観光事業を推進するため、決算剰余金5,000万円と基金運用益110万円の合計額5,110万円を基金に積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	3億9,881万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	3億9,881万円	5,110万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	- 万円	3億9,881万円	4億4,991万円

※平成30年度に果実運用基金であった「産業振興基金」を新たな積立基金「商工観光振興基金」へと積み替えました。

16_こども未来創造基金

(担当：財政課)

令和元年度は、GIGAスクール構想などICT教育機器の整備・更新等に要する経費の財源として、決算剰余金3億円と基金運用益124万円の合計額3億124万円を基金に積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	4億4,886万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	4億4,886万円	3億 124万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	- 万円	4億4,886万円	7億5,010万円

※平成30年度に果実運用基金であった「学校教育振興基金」、「生涯学習振興基金」、「文化振興基金」、「スポーツ振興基金」の4基金を新たな積立基金「こども未来創造基金」へと積み替えました。



17_森林環境譲与税基金

(担当：財政課)

計画的な森林の整備や人材の育成・確保などの施策を実施していくため、令和元年度に本基金を創設しました。森林環境譲与税1,762万円を積み立てるとともに、森林経営管理意向調査準備業務の財源として36万円を取り崩しました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	1,762万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	36万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	1,726万円



18_国民健康保険事業財政調整基金

(担当：健康課)

令和元年度は、財源不足に対応するために9,803万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益245万円を積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	3億6,958万円	7億 760万円	6億1,274万円	7億1,920万円	8億8,726万円
当該年度積立額	3億3,802万円	380万円	1億 647万円	1億6,806万円	245万円
当該年度取崩額	- 万円	9,866万円	- 万円	- 万円	9,803万円
当該年度残高	7億 760万円	6億1,274万円	7億1,920万円	8億8,726万円	7億9,168万円

19_訪問看護事業財政調整基金

(担当：医療課)

令和元年度は、財源不足に対応するために1,400万円を取り崩しました。また、訪問看護事業を今後も継続して実施していくため、10年間分の必要財源を一般会計から繰り入れ、1億5,000万円を積み立てました。そのほか、基金の運用によって得られた収益24万円についても同様に積み立てました。

＜基金残高の推移＞

	H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	1億6,706万円	1億5,760万円	1億 844万円	1億 886万円	8,825万円
当該年度積立額	54万円	84万円	42万円	39万円	1億5,024万円
当該年度取崩額	1,000万円	5,000万円	- 万円	2,100万円	1,400万円
当該年度残高	1億5,760万円	1億 844万円	1億 886万円	8,825万円	2億2,449万円



20_奨学基金

(担当：教育総務課)

令和元年度は、1,884万円の貸し付けを行ったほか、基金の運用から得られた収益1万円と貸付金返済金13万円を積み立てました。

＜基金残高の推移＞

		H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	現金	5,470万円	6,719万円	7,806万円	8,944万円	9,348万円
	貸付金	1億3,452万円	1億2,376万円	1億1,378万円	1億 283万円	9,895万円
当該年度中の増	現金	2,838万円	2,962万円	3,066万円	2,276万円	2,086万円
	貸付金	1,589万円	1,875万円	1,928万円	1,872万円	1,884万円
当該年度中の減	現金	1,589万円	1,875万円	1,928万円	1,872万円	1,884万円
	貸付金	2,665万円	2,873万円	3,023万円	2,260万円	2,073万円
当該年度残高	現金	6,719万円	7,806万円	8,944万円	9,348万円	9,550万円
	貸付金	1億2,376万円	1億1,378万円	1億 283万円	9,895万円	9,706万円

21_土地開発基金

(担当：財政課)

令和元年度は、立野原東災害残土仮置場用地等の売却により保有土地が4,561万円の減額、現金が同額増加しました。この現金の増額分と基金の運用によって得られた収益12万円を合わせて基金に積み立てました。

＜基金残高の推移＞

		H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	現金	5億 356万円	7億 780万円	9億3,310万円	9億5,610万円	9億5,652万円
	土地	8億8,308万円	6億8,065万円	4億5,695万円	4億3,430万円	3億4,223万円
当該年度中の増	現金	2億1,463万円	2億2,530万円	2,300万円	42万円	4,573万円
	土地	1,038万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度中の減	現金	1,038万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
	土地	2億1,281万円	2億2,370万円	2,265万円	9,208万円	4,561万円
当該年度残高	現金	7億 780万円	9億3,310万円	9億5,610万円	9億5,652万円	10億 225万円
	土地	6億8,065万円	4億5,695万円	4億3,430万円	3億4,223万円	2億9,662万円

22_美術品取得基金

(担当：福光美術館)

令和元年度は、新たな美術品の保有および現有美術品の売却がなく、基金の運用によって得られた収益（201円）のみを積み立てました。

＜基金残高の推移＞

		H27	H28	H29	H30	R1
前年度末残高	現金	513万円	515万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円
	美術品	4,894万円	4,894万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円
当該年度中の増	現金	2万円	1,670万円	0万円	0万円	0万円
	美術品	- 万円	200万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度中の減	現金	- 万円	200万円	- 万円	- 万円	- 万円
	美術品	- 万円	1,670万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	現金	515万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円
	美術品	4,894万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円

3. 定額運用基金の状況

1. 奨学基金

《貸付金と貸与者数の状況》

区分	平成30年度末 貸与者数	平成30年度末 現在高（貸付残高）	令和元年度		令和元年度末 貸与者数	令和元年度末 現在高（貸付残高）
			貸付	返済		
10,000円/月	0人				0人	
30,000円/月	2人				2人	
35,000円/月	43人				44人	
計	45人	9,895万円	1,884万円	2,073万円	46人	9,706万円

《基金現金の状況》

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
		増	減	
現金	9,348万円	2,086万円	1,884万円	9,550万円

南砺市奨学金貸与制度の概要

1. 奨学資金の目的

有用な人財の育成を図るため、優れた資質があるにも関わらず、授業料等の支払いが困難な学生に対して、奨学資金を貸与しています。

2. 資金の貸与を受けることができる方

次の全てに該当する必要があります。

- （1）保護者が市内に住所を有していること。
- （2）健康かつ品行方正であって、学業成績が優秀であること。
- （3）授業料等の支払いが困難であること。
- （4）学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学又は大学（大学院を除く。）に在学する方であること。
- （5）在学した学校長又は現に在学する学校長の推薦があること。

3. 貸与の額

- 高等学校・高等専門学校（自宅）・・・月額10,000円以内
- 高等学校・高等専門学校（自宅外）・・・月額30,000円以内
- 専修学校（専門）・短期大学・大学・・・月額35,000円以内

4. 貸与期間、返済期間

正規の修学期間が終了する月まで貸与します。また、卒業した月の翌月から7年以内（1年据置）に返済していただくことになります。（貸与資金の返済に利息はつきません。）

5. 選考基準

資金の貸与を受けようとする方は、学力及び家計の両方の基準を満たす必要がありますが、家計の基準が優先されます。

（1）学力基準

- ① 新入生は、出身校の在学期間の全履修教科の平均値（評定平均値）が3.5以上。2年生以上は、入学から前年度までの全履修教科の平均値とします。
- ② 3.0以上3.5未満であっても、家族構成、家庭事情、本人の学業意欲、人物所見によって考慮します。

（2）家計基準

貸与を受けようとする方の世帯人数に応じた収入基準をもとに算定されます。

詳細については、教育総務課までお気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ先：南砺市 教育部 教育総務課

〒932-1692 南砺市荒木1550番地

TEL：0763-23-2012、FAX：0763-52-6350

2. 土地開発基金

《土地面積の状況》

(単位：㎡)

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
		増	減	
宅地	30,630.48	-	10,521.80	20,108.68
田畑	3,187.86	-	-	3,187.86
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	4,197.53	-	4,197.53	0.00
合計	38,015.87	0.00	14,719.33	23,296.54

《簿価（土地価格）の状況》

(単位：円)

区分	平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
		増	減	
宅地	306,716,117	-	38,460,838	268,255,279
田畑	28,366,677	-	-	28,366,677
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	7,145,407	-	7,145,407	0
土地 計	342,228,201	0	45,606,245	296,621,956
現金預金 計	956,519,879	45,728,761	0	1,002,248,640
合計	1,298,748,080	45,728,761	45,606,245	1,298,870,596



3. 美術品取得基金
 ≪美術品の状況≫

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
櫻井之駅 楠父子誠忠	1	山本 光一	日本画	軸装	H16.8.4	315,000	軸先が陶器
栖霞品句板巻	1	棟方 志功	版画	製本	H16.8.4	700,000	
棟方志功日記他資料一括（日記3・資料6）	9	棟方 志功	資料		H17.8.9	1,260,000	
笈	2	石崎 光瑤	日本画	2曲1双屏風	H17.8.19	15,000,000	裏箔・第8回文展 褒状受賞
横臥裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	21点セット購入 10,500,000円
裸婦三人	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦群像	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像（2）赤眼の裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	840,000	
裸婦庭図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
裸婦座像（3）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
横臥図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
池畔図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
裸婦座像（4）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
立山遠望	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
二人裸婦	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
山間風景（1）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
立像裸婦達	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	1,260,000	
山間風景（2）	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
桜樹	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
赤松	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
鯉魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
静物	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	367,500	
裸婦立像図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	2,625,000	
双鶏	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	2,000,000	

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
信州槍岳之図	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	315,000	
牡丹の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.8.10	1,000,000	
貝族の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.9.10	3,150,000	
合計	38					34,240,000	

「笥」 石崎 光瑤 作



(右隻).

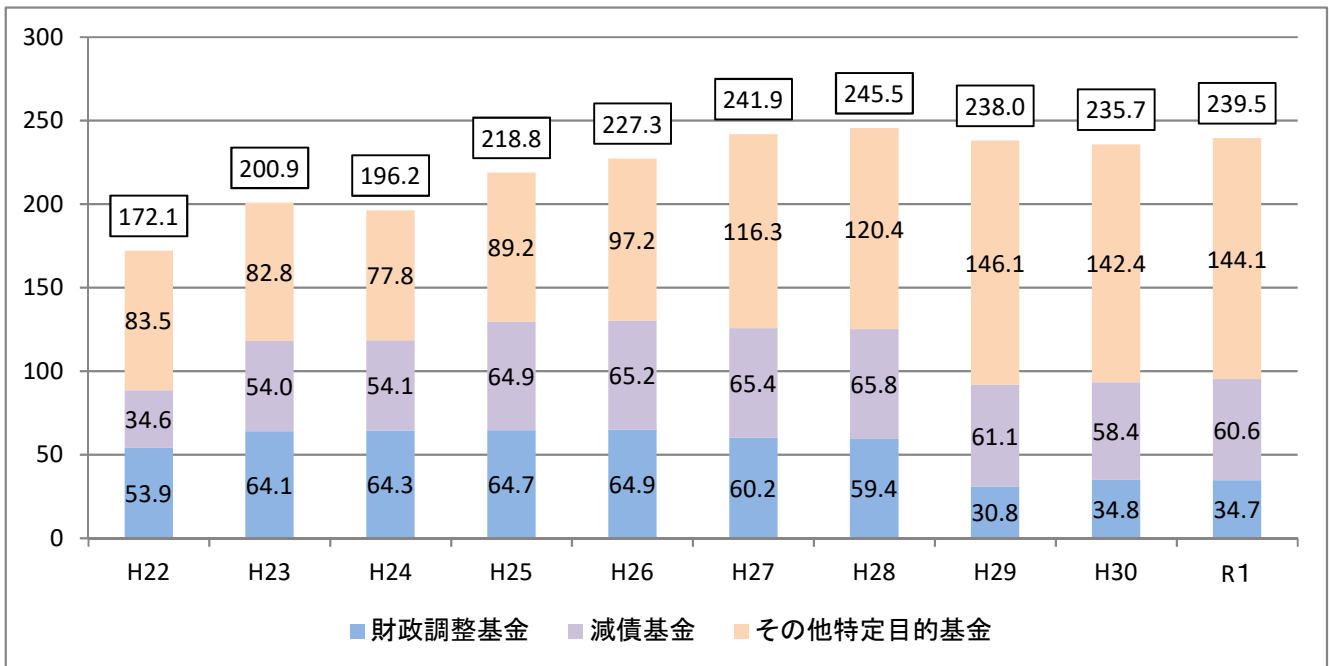


(左隻).

4. グラフで見る基金の推移（定額運用基金を除く）

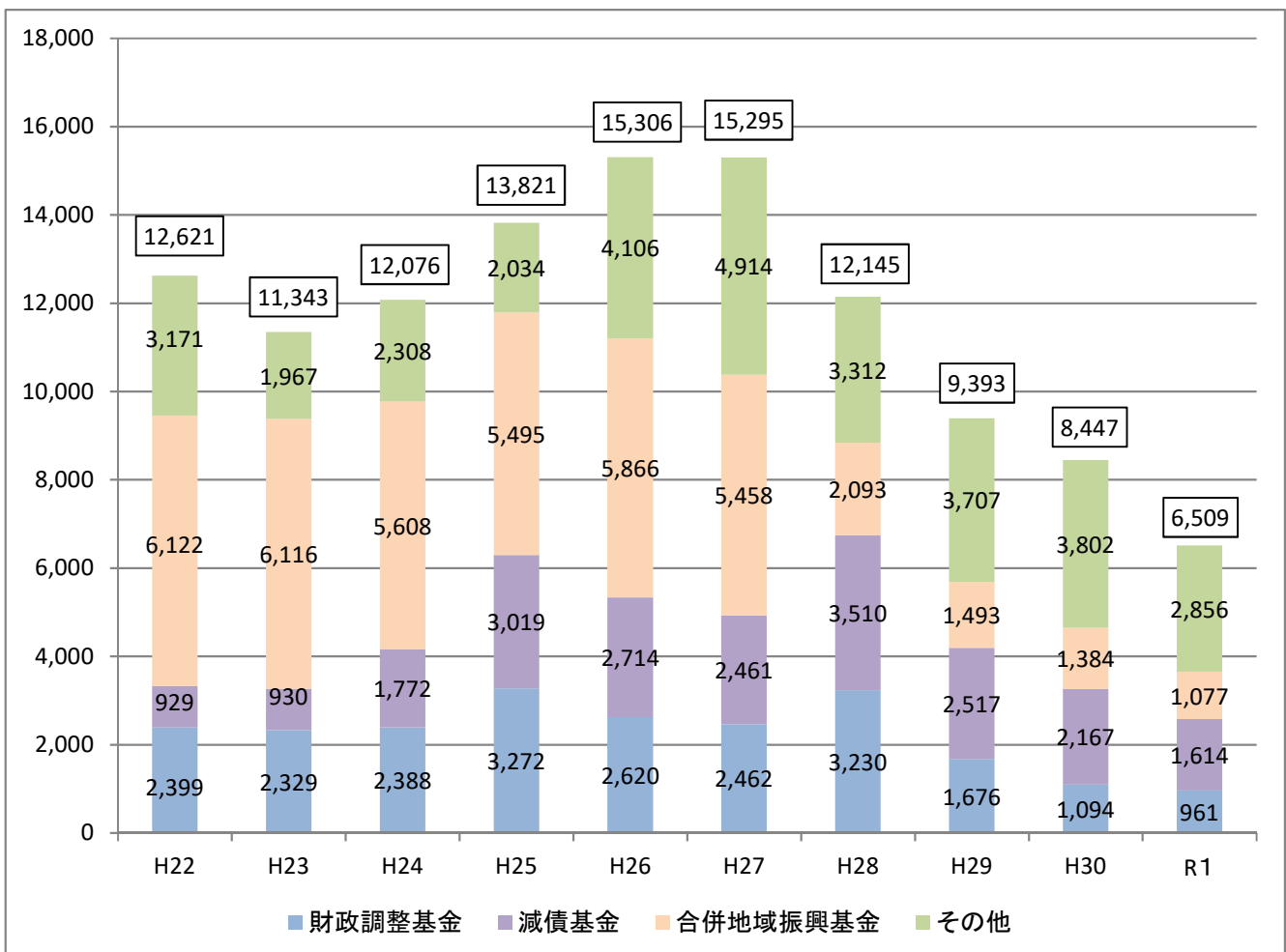
《年度末現在高》

（単位：億円）



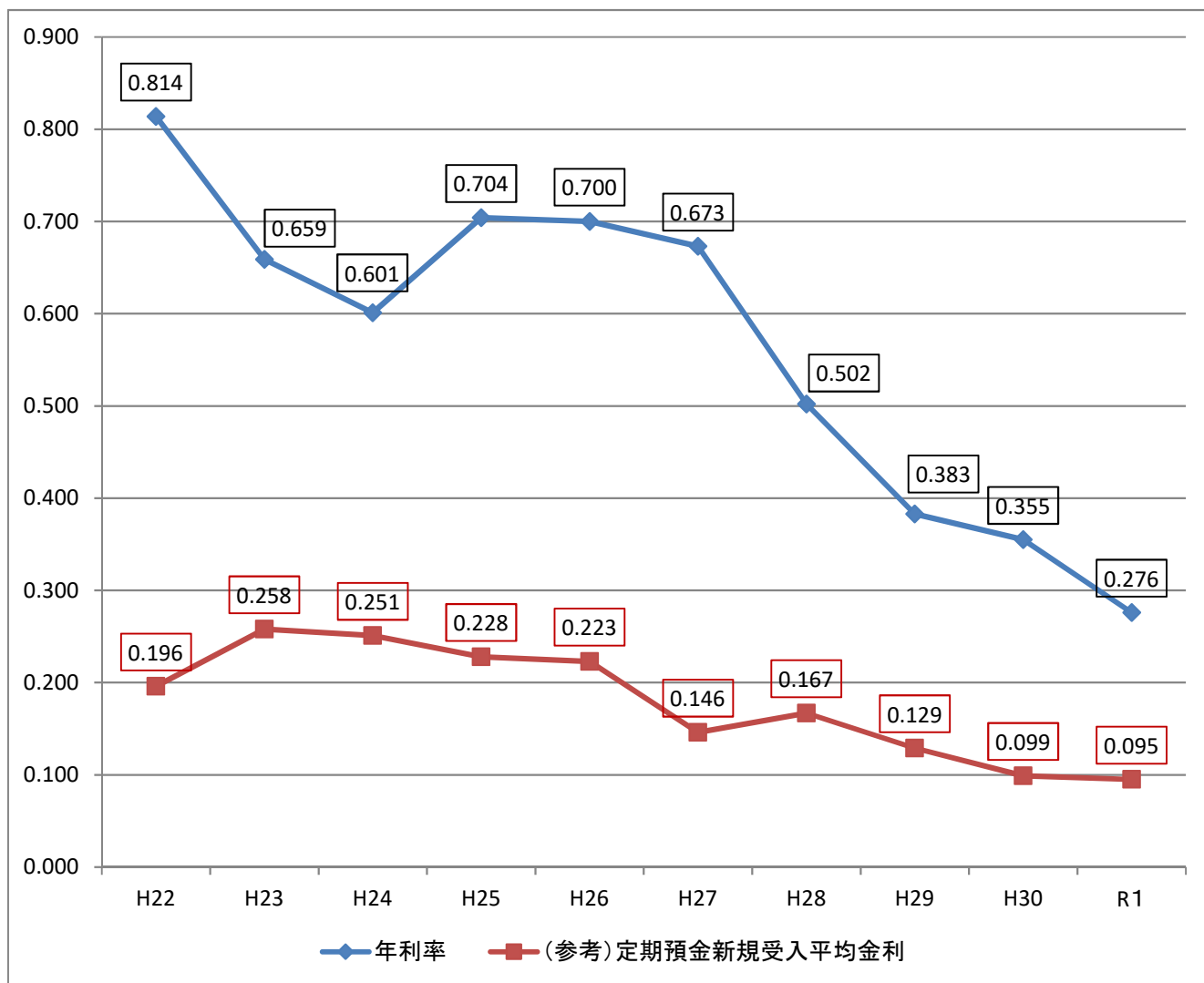
《運用益の状況》

（単位：万円）



《年利率》

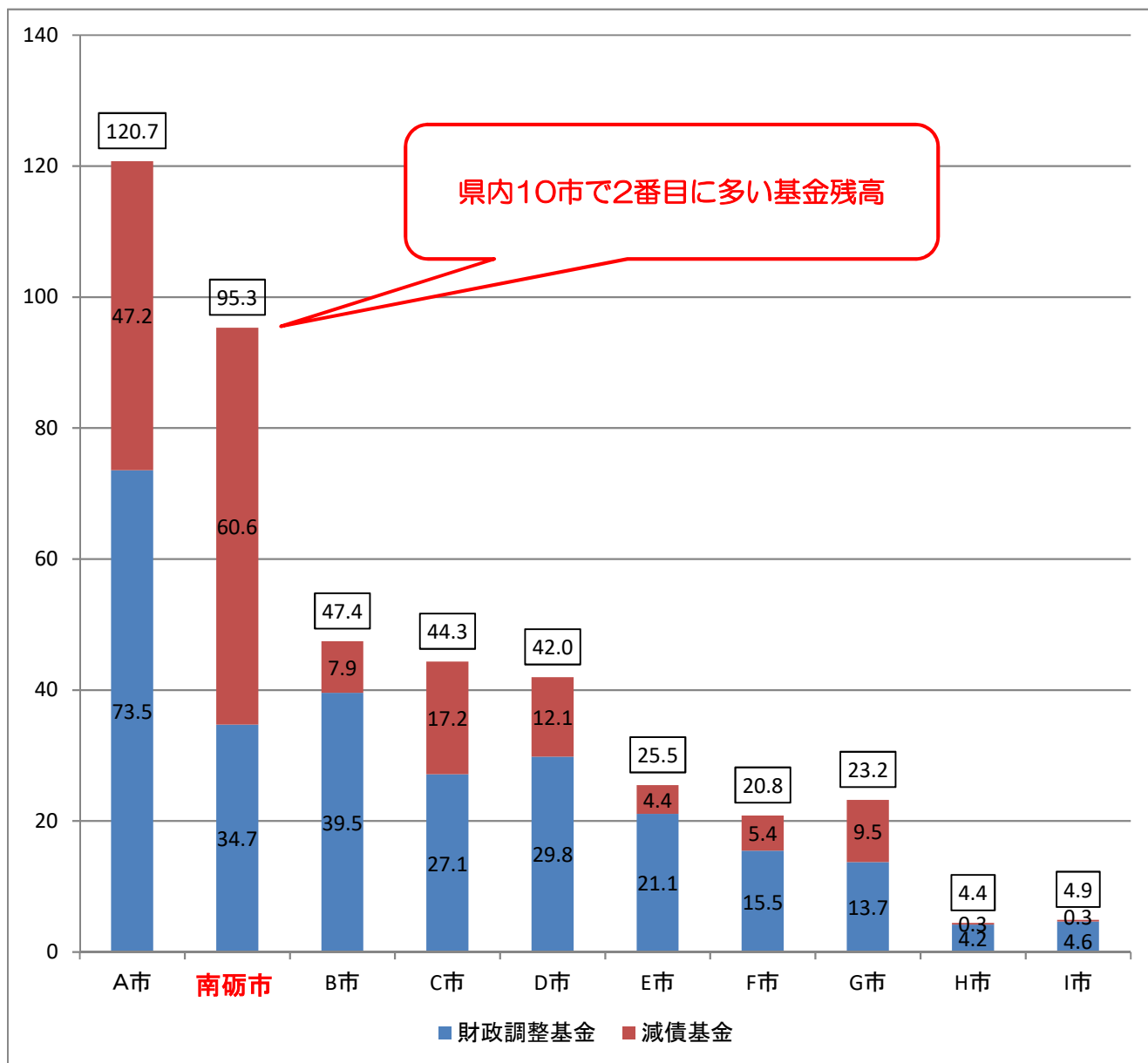
(単位：％)



※1 年利率は、次の算式によって求めています。年利率＝ n 年度運用益総額÷($n-1$)年度末基金残高×100

※2 「(参考) 定期預金新規受入平均金利」は、日本銀行が公表している毎年3月における「定期預金新規受入平均金利(預入金額1千万円以上、預入期間3カ月以上6カ月未満)」の値を参考としています。

※3 平成28年度からは、基金の一括運用を行っており、基金の運用によって生じた収益は、1月1日現在の基金現在高に応じて、按分する取扱いとしています。



出典：令和元年度地方財政状況調査



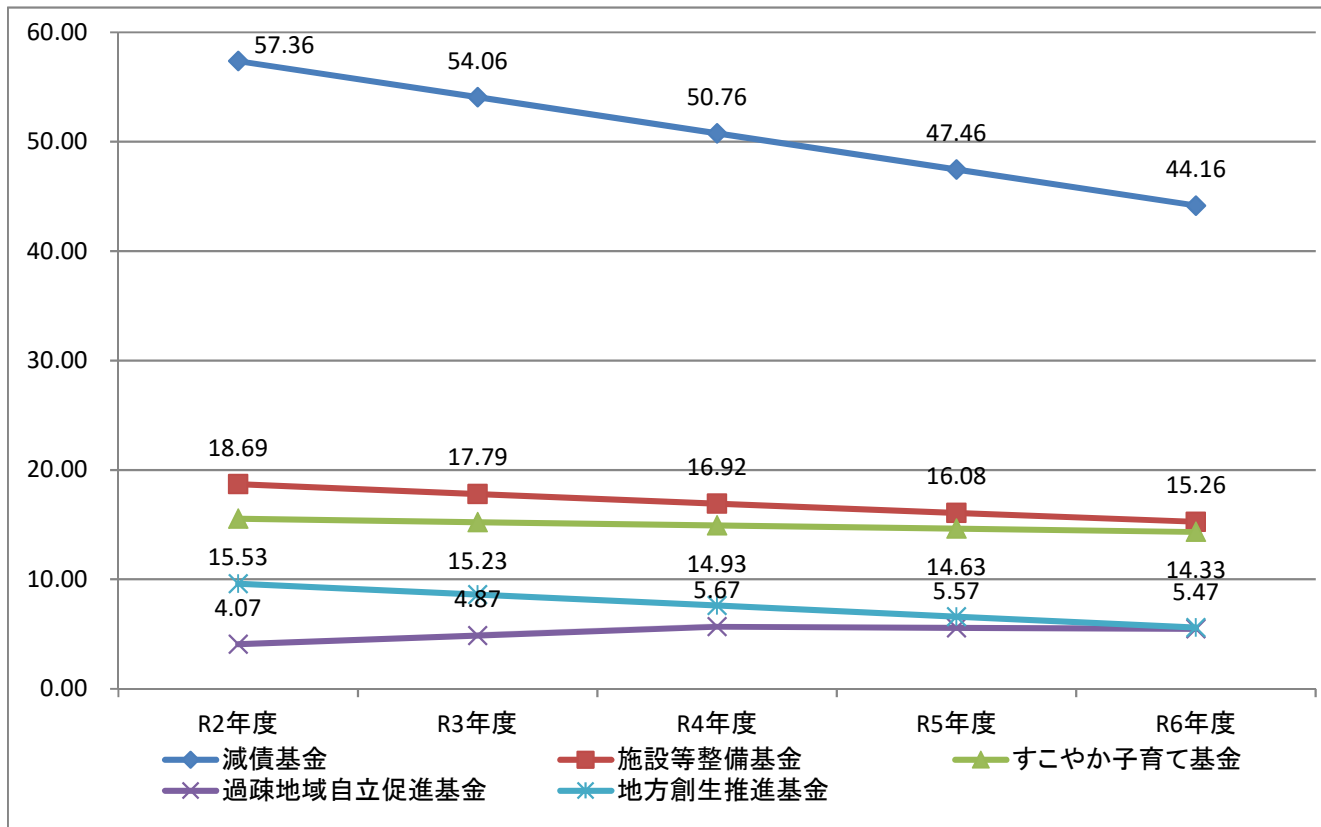
《今後の基金活用予定》

今後の財政見通しにおいては、歳入面においては人口減少に伴う個人住民税や普通交付税の減、歳出面においては扶助費及び公債費の増が見込まれ、これまで以上に厳しい財政状況となることが予見されます。そういった状況下においても、必要とされる行政サービスを継続的に提供するとともに、人口対策、地域経済の活性化対策といった重点施策を講じていくために、基金を計画的に活用していくこととしています。

以下は、主要基金の今後の活用予定を示したものです（基金残高は今後の財政状況などによって変動する可能性があります。）。

■基金残高の見込み

（単位：億円）



当面の間、公債費（市の借金の返済）が非常に大きくなるため、減債基金の取崩し額を大きくしているよ。

基金の運用益や前年度決算剰余金を基金に積み立てながら、計画的に基金を取り崩すことで、行政運営が行き詰まらないようにしているんだ。





【問合せ】

〒939-1692 富山県南砺市荒木1550番地

南砺市役所 総務部 財政課

TEL 0763-23-2004

FAX 0763-52-6341